資料 No.3

「稲城市安全・安心まちづくり推進協議会」における令和6年活動報告及び令和7年の活動について

総務部総務契約課

＜令和６年 活動報告について＞

1．安全・安心まちづくり推進協議会
⇒開催　３回（２月、６月、11 月）

2．市内一斉防犯パトロール

		7月	12 月
実施日		令和６年７月 17 日（水）	令和６年 12 月 18 日（水）
参加者数		803 人（前年 797 人）	773 人（前年 800 人）
延べ団体数		156 団体（前年 146 団体）	151 団体（前年 154 団体）
配布	可燃ごみ袋	19 枚	10 枚
	不燃ごみ袋	11 枚	２枚

3．特殊詐欺被害防止に係る広報等
〇市広報やメール配信サービスによる注意喚起のほか、後期高齢者医療制度（75 歳以上）の通知にチラシを同封し、注意喚起を図った。
〇民生・児童委員へのチラシ配布の協力依頼。
〇市役所１階ロビー行政情報モニターでの放映。
〇「i のまち いなぎ市民まつり」に行政テントを出店し、多摩中央警察署及び多摩稲城・防犯協会と共に、来場者への防犯啓発を実施。

４．共催及び後援事業
〇「稲城市防犯のつどい」（令和６年３月 13 日）
⇒中央文化センターホールにて、プロの劇団による特殊詐欺被害防止公演（寸劇）と、警視庁多摩中央警察署生活安全課防犯係長による防犯講話を実施。
〇「駅伝防犯パトロール」（令和６年５月６日）
⇒　多摩稲城防犯協会稲城支部に対する後援事業で、当日は 177 人の市民の皆さんが参加。

令和５年と令和６年の市内犯罪発生状況の比較

１　包括犯罪別（１月～12月）

犯罪名・年 / 地区	凶悪犯		粗暴犯		侵入窃盗		非侵入窃盗		その他		合　計		割　合(%)		人口比（件）	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
矢野口	0	1	3	7	2	1	52	55	16	19	73	83	25.8	21.4	4.09	4.66
東長沼	0	0	1	5	3	1	34	35	16	25	54	66	19.1	17.0	3.59	4.31
大　丸	0	0	1	4	3	1	22	29	15	17	41	51	14.5	13.1	4.30	5.30
百　村	0	0	1	3	0	2	5	7	4	8	10	20	3.5	5.2	1.87	3.73
坂　浜	0	0	2	0	0	1	10	7	2	3	14	11	5.0	2.8	3.57	2.70
平　尾	0	1	3	3	3	2	16	17	9	17	31	40	11.0	10.3	2.53	3.28
押　立	0	0	2	0	2	1	4	11	2	2	10	14	3.5	3.6	2.01	2.76
向陽台	0	0	0	0	0	0	14	11	1	9	15	20	5.3	5.2	1.73	2.34
長　峰	0	0	2	2	0	0	6	8	4	7	12	17	4.2	4.4	2.69	3.87
若葉台	0	0	0	1	0	0	19	58	4	7	23	66	8.1	17.0	1.99	5.79
合　計	**0**	**2**	**15**	**25**	**13**	**9**	**182**	**238**	**73**	**114**	**283**	**388**	**100.0**	**100.0**	－	－
		皆増		66.7%		-30.8%		30.8%		56.2%		37.1%				

※人口比は1,000人当たりの認知件数

２　非侵入窃盗の手口別内訳（１月～12月）

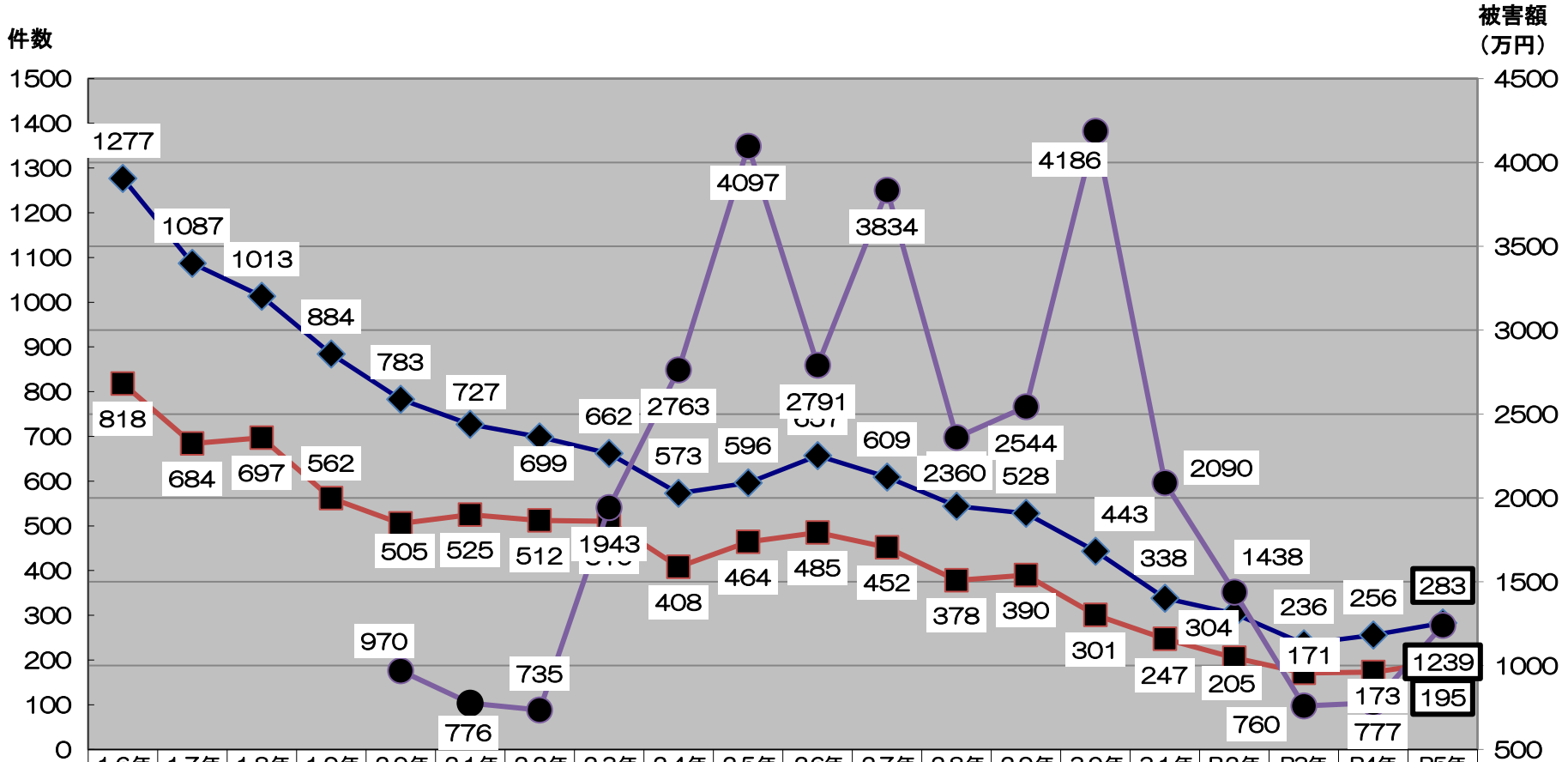
手口・年 / 地区	自動車盗		オートバイ盗		自転車盗		万引き		その他		合計		割合(%)	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6
矢野口	0	1	5	2	20	27	－	5	27	20	52	55	28.6	23.1
東長沼	0	0	2	1	17	20	－	1	15	13	34	35	18.7	14.7
大　丸	0	3	3	0	8	14	－	3	11	9	22	29	12.1	12.2
百　村	0	1	0	0	2	2	－	1	3	3	5	7	2.7	2.9
坂　浜	0	0	0	1	1	3	－	0	9	3	10	7	5.5	2.9
平　尾	0	1	3	1	4	6	－	0	9	9	16	17	8.8	7.2
押　立	0	0	0	2	2	4	－	3	2	2	4	11	2.2	4.6
向陽台	0	0	0	0	9	5	－	3	5	3	14	11	7.7	4.6
長　峰	0	0	0	1	3	7	－	0	3	0	6	8	3.3	3.4
若葉台	0	0	0	0	7	33	－	17	12	8	19	58	10.4	24.4
合　計	**0**	**6**	**13**	**8**	**73**	**121**	**0**	**33**	**96**	**70**	**182**	**238**	**100.0**	**100.0**
		皆増		-38.5%		65.8%		皆増		-27.1%		30.8%		

（注）「万引き」は令和6年度の追加項目のため、令和5年度の内訳なし（※令和5年度は「その他」に計上）

＜令和6年　活動目標＞
「①刑法犯認知件数アンダー250、②市内一斉防犯パトロールの参加者数を10%増やす、③特殊詐欺被害額を前年比50%以下にする」

【数値結果】
①刑法犯認知件数　　388件（達成状況：×）
②市内一斉防犯パトロール参加者　前年比1．1%減（達成状況：×）
③特殊詐欺被害　16件／約8，300万円（達成状況：×）

平成16年からの犯罪認知状況推移



	１６年	１７年	１８年	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年	２４年	２５年	２６年	２７年	２８年	２９年	３０年	３１年	R2年	R3年	R4年	R5年
◆刑法犯認知件数	1277	1087	1013	884	783	727	699	662	573	596	657	609	544	528	443	338	304	236	256	283
■窃盗犯認知件数	818	684	697	562	505	525	512	510	408	464	485	452	378	390	301	247	205	171	173	195
●特殊詐欺被害額					970	776	735	1943	2763	4097	2791	3834	2360	2544	4186	2090	1438	760	777	1239

※平成17年に安全・安心まちづくり推進協議会発足

全国・東京都との刑法犯認知件数比較

（1） 全国

	刑法犯認知件数 （年間）	人口 （1月1日時点）	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	2,562,767	126,824,166	20.21
令和５年	703,351	124,090,000	5.67
令和６年	737,679	123,590,000	5.97

（2） 東京都

	刑法犯認知件数 （年間）	人口 （1月1日時点）	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	283,326	12,074,598	23.46
令和5年	89,101	13,911,902	6.40
令和６年	94,752	14,002,534	6.77

（3） 稲城市

	刑法犯認知件数 （年間）	人口 （1月1日時点）	1,000人当たり刑法犯認知件数
平成16年	1,277	73,520	17.37
令和５年	284	93,781	3.03
令和６年	388	93,916	4.13

令和6年　都内刑法犯認知件数比較

※件数：令和6年12月末時点

刑法犯認知件数　比較		
順位	自治体名	件数
1	狛江市	268
2	国立市	361
3	稲城市	388
4	羽村市	392
5	福生市	434
6	武蔵村山市	445
7	あきる野市	448
8	清瀬市	465
9	東大和市	559
10	国分寺市	586
11	東久留米市	681
12	小金井市	709
13	青梅市	771
14	三鷹市	803
15	日野市	816
16	東村山市	891
17	昭島市	948
18	多摩市	952
19	西東京市	1,032
20	小平市	1,045
21	府中市	1,087
22	調布市	1,181
23	文京区	1,194
24	荒川区	1,328
25	武蔵野市	1,348
26	目黒区	1,419
27	立川市	1,596
28	中央区	1,979
29	墨田区	2,089
30	中野区	2,094
31	品川区	2,240
32	北区	2,276
33	町田市	2,361
34	杉並区	2,479
35	千代田区	2,532
36	台東区	2,731
37	八王子市	3,004
38	葛飾区	3,037
39	港区	3,188
40	江東区	3,332
41	板橋区	3,420
42	練馬区	3,662
43	豊島区	3,730
44	渋谷区	3,849
45	江戸川区	4,222
46	大田区	4,370
47	足立区	4,442
48	世田谷区	4,443
49	新宿区	6,025

1,000人当たり刑法犯認知件数　比較			
順位	自治体名	件数	人口
1	狛江市	3.27	82,048
2	稲城市	4.13	93,916
3	府中市	4.16	260,998
4	三鷹市	4.22	190,497
5	杉並区	4.30	577,147
6	日野市	4.33	188,477
7	国分寺市	4.53	129,500
8	国立市	4.75	76,079
9	世田谷区	4.81	923,210
10	練馬区	4.91	745,927
11	調布市	4.93	239,348
12	西東京市	5.00	206,245
13	目黒区	5.04	281,400
14	文京区	5.07	235,345
15	小平市	5.31	196,799
16	八王子市	5.37	559,083
17	品川区	5.43	412,786
18	町田市	5.49	430,170
19	あきる野市	5.65	79,244
20	小金井市	5.66	125,174
21	東久留米市	5.85	116,325
22	東村山市	5.87	151,795
23	大田区	5.90	740,519
24	板橋区	5.91	578,914
25	荒川区	5.97	222,278
25	青梅市	5.97	129,105
27	江戸川区	6.09	693,570
28	中野区	6.13	341,322
29	江東区	6.15	541,685
30	清瀬市	6.20	75,011
31	北区	6.29	362,089
31	武蔵村山市	6.29	70,696
33	足立区	6.36	698,276
34	多摩市	6.43	148,084
35	葛飾区	6.46	469,916
36	東大和市	6.58	84,996
37	羽村市	7.24	54,126
38	墨田区	7.27	287,302
39	福生市	7.67	56,582
40	昭島市	8.20	115,632
41	立川市	8.57	186,257
42	武蔵野市	9.11	148,034
43	中央区	10.56	187,404
44	港区	11.91	267,780
45	台東区	12.64	216,084
46	豊島区	12.66	294,644
47	渋谷区	16.63	231,402
48	新宿区	17.08	352,717
49	千代田区	36.78	68,835

［参考］ 令和5年　稲城市状況
件数　：　284件　（1位）
1,000人当たり件数　：　3.03件　（1位）

※町村を除く

【令和６年　稲城市における特殊詐欺等の被害状況】

被害件数	被害総額
16件	約8,300万円

詐欺の概要と被害額〔１～12月〕

認知日	地区名	詐　欺　の　概　要
１月	大丸	【架空料金請求詐欺】 電気通信会社を騙る者から電話があり、電子マネーカード等を購入してしまったもの。
１月	平尾	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、現金を郵送してしまったもの。
３月	向陽台	【預貯金詐欺】 市役所職員を騙る者等から電話があり、キャッシュカードを渡してしまったもの。
５月	長峰	【還付金詐欺】 市役所職員を騙る者等から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。
６月	押立	【架空料金請求詐欺】 電気通信会社を騙る者からメールがあり、現金を振り込んでしまったもの。
６月	百村	【その他】 副業報酬が貰えるという言葉を信じ、現金を振り込んでしまったもの。
７月	平尾	【オレオレ詐欺】 官公庁を騙る者から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。
８月	坂浜	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、自宅に来た者に現金を手渡してしまったもの。
９月	平尾	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、自宅に来た者に現金を手渡してしまったもの。
９月	平尾	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。
９月	矢野口	【キャッシュカード詐欺盗】 警察官を騙る者から電話があり、キャッシュカードを手渡してしまったもの。
９月	矢野口	【オレオレ詐欺】 警察官を騙る者から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。
10月	大丸	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、現金を手渡してしまったもの。
11月	平尾	【オレオレ詐欺】 家族を騙る者から電話があり、現金を手渡してしまったもの。
11月	平尾	【還付金詐欺】 市役所職員を騙る者等から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。
11月	向陽台	【還付金詐欺】 市役所職員を騙る者等から電話があり、現金を振り込んでしまったもの。

※件数は、多摩中央警察署において暫定的に集計したものであり、警視庁が公表する数値と異なる場合があります。

過去の被害状況〔１～12月〕

年	件数（件）	被害額（円）
平成25年	16	40,968,713
平成26年	11	27,907,760
平成27年	9	38,340,000
平成28年	9	23,602,000
平成29年	11	25,441,000
平成30年	19	41,860,000
平成31年	11	20,900,000
令和2年	7	14,380,000
令和3年	9	7,600,000
令和4年	6	7,770,000
令和5年	10	12,390,000

令和6年　都内特殊詐欺被害件数比較

※件数：令和6年12月末時点

被害件数　比較		
順位	自治体名	件数
1	あきる野市	8
2	武蔵村山市	10
2	羽村市	10
4	福生市	14
4	狛江市	14
6	清瀬市	16
6	稲城市	16
8	西東京市	18
9	千代田区	19
9	東久留米市	19
11	国立市	21
12	小金井市	22
13	国分寺市	25
14	昭島市	26
15	中央区	30
15	東大和市	30
17	青梅市	31
18	多摩市	39
19	立川市	42
20	東村山市	44
21	小平市	45
22	台東区	46
23	港区	47
24	府中市	52
25	荒川区	53
26	墨田区	57
27	目黒区	66
28	調布市	70
28	日野市	70
30	文京区	72
31	新宿区	74
32	三鷹市	80
33	渋谷区	82
34	中野区	87
34	武蔵野市	87
36	品川区	89
37	八王子市	103
38	葛飾区	104
39	足立区	118
40	町田市	120
41	江戸川区	121
42	豊島区	126
43	北区	128
44	江東区	130
45	杉並区	133
46	板橋区	152
47	練馬区	166
48	世田谷区	222
49	大田区	240

1,000人当たりの被害件数　比較			
順位	自治体名	件数	65歳以上人口
1	あきる野市	0.329	24,286
2	西東京市	0.356	50,557
3	武蔵村山市	0.523	19,134
4	東久留米市	0.566	33,595
5	八王子市	0.658	156,440
6	羽村市	0.681	14,683
7	足立区	0.699	168,751
8	狛江市	0.703	19,924
9	青梅市	0.743	41,739
10	清瀬市	0.768	20,826
11	稲城市	0.770	20,792
12	小金井市	0.809	27,207
13	江戸川区	0.824	146,801
14	昭島市	0.853	30,474
15	国分寺市	0.873	28,643
16	府中市	0.882	58,952
17	福生市	0.897	15,601
17	多摩市	0.897	43,480
19	立川市	0.911	46,082
20	葛飾区	0.919	113,141
21	小平市	0.957	47,030
22	墨田区	0.961	59,304
23	練馬区	1.013	163,937
24	町田市	1.020	117,692
25	港区	1.023	45,946
26	台東区	1.035	44,463
27	東村山市	1.065	41,320
28	荒川区	1.086	48,823
29	品川区	1.101	80,842
29	杉並区	1.101	120,809
31	新宿区	1.109	66,707
32	中央区	1.124	26,689
33	国立市	1.127	18,640
34	江東区	1.155	112,572
34	板橋区	1.155	131,547
36	世田谷区	1.168	190,088
37	目黒区	1.193	55,323
38	東大和市	1.273	23,574
39	中野区	1.304	66,736
40	調布市	1.336	52,399
41	大田区	1.463	164,067
42	日野市	1.501	46,640
43	北区	1.522	84,118
44	文京区	1.644	43,785
45	千代田区	1.649	11,523
46	三鷹市	1.889	42,346
47	渋谷区	1.898	43,206
48	豊島区	2.239	56,267
49	武蔵野市	2.587	33,636

［参考］ 令和5年　稲城市状況
件数　：　11件　（1位）
1,000人当たり（65歳以上）件数　：　0.533件　（4位）

※町村を除く

４．協議事項　「令和７年の活動について」

（１）活動目標について

① 刑法犯認知件数を前年比で 10%減らす

② 特殊詐欺被害件数及び被害額を前年比で 10%減らす

③ 市内一斉防犯パトロールの参加者数を 10%増やす

①刑法犯認知件数を前年比で 10%減らす

平成１６年に 1,277 件であった刑法犯認知件数は、平成 24 年には 573 件まで減少した。そこから、平成 25 年（596 件）、平成 26 年（657 件）と増加傾向に転じたが、平成 27 年（609 件）以降、毎年減少傾向を維持し、令和３年においては 236 件と最少件数をさらに更新した。しかし、令和４年（256 件）、令和５年（283 件）と増加傾向に転じており、令和６年 11 月現在では 362 件となっている。

犯罪の発生傾向・頻度も全国的に増加しており、稲城市も例外でないことから、本年の活動目標としては、「刑法犯認知件数を前年比 10%減」を掲げ、これ以上の刑法犯認知件数の抑止を図っていきたい。

②特殊詐欺被害件数及び被害額を前年比で 10%減らす

市内における特殊詐欺被害について、令和５年では 10 件、約 1,239 万円、令和６年（11 月現在）では 16 件、約 8,300 万円と被害件数・被害額ともに前年比で増加した。特に１件当たりの被害額が高額化しており、市としても警視庁多摩中央警察署と協力しているが、なかなか被害撲滅には至らない。

まずは可能な限り被害自体を減らしていくことを目標とし、その数値目標として「件数及び被害額を前年比 10%減」を掲げることといたしたい。

③市内一斉防犯パトロールの参加者数を 10%増やす

当協議会主催で、年２回（夏休み前・年末）の特別警戒として「市内一斉防犯パトロール」を実施しているところであるが、コロナ禍での中止等の影響もあり、参加者の減少傾向にある。

人口、市内の刑法犯認知件数も増加傾向にある中で、①の目標達成のためにも、市民の更なる防犯意識醸成を図る必要があることから、まずは年２回の特別警戒である「市内一斉防犯パトロール」により多くの市民に参加してもらい、その数値目標として「前年比 10%増」を掲げることとしたい。

（２）協議会の事業について

＊年３回を基本に協議会を開催
＊学校の夏休み前と年末に市内一斉防犯パトロールを実施
＊「いなぎ市民まつり」等イベントでの啓発活動を実施
＊駅伝防犯パトロールを実施（協力）
＊子どもたちを対象とした防犯事業を実施